

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立藤田中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-0221

岡山県岡山市南区藤田400番地

E-mail fujitac@city-okayama.ed.jp

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~fujitac/>

幼児児童生徒数 男子 194名 女子 164名 合計 358名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2、2-1に対応

平成29年度 ESDの取り組み

年間を通しての活動

ボラレンジャーによるボランティア活動

- ・ボラレッド（地域の祭・イベントへの参加）、ボラグリーン（園芸）、ボラブルー（校内整備）、ボライエロー（あいさつ運動）、ボラホワイト（美化）のいずれかに全校生徒が所属し、1年間に1度はボランティア活動に参加をすることを目標としています。

5月16日（火）～18日（木） 職場体験

- ・2年生が地元地域の職場で実体験を行います。

5月20日（土） 春の花いっぱい運動

- ・藤田公民館において「はるかのひまわり」を植えます。

5月16日（火） 平和学習（3年修学旅行）

- ・長崎市内で平和集会を行います。

7月10日（月）～12日（水） 地域協働あいさつ運動

- ・2年生が出身小学校へ行って、朝のあいさつを行います。



7月11日（火） 第一藤田小学校と都保育園との地域清掃ボランティア

- ・2年生有志が児童、園児と共に清掃活動を行います。



7月末～8月初め 小学校への絵本読み聞かせ

- ・文化委員が絵本の読み聞かせを行います。



9月9日（土） 体育祭

- ・生徒と地域住民が協力して綱引きを行います。

9月27日（水） 文化祭

- ・展示発表、ステージ発表を通してE S Dを訴えます。

11月21日（火）～24日（金） 秋の花いっぱい運動

- ・藤田中学校で興陽高校の生徒を講師に迎えて、プランター作りを行います。



11月26日(日) 藤田ふれあい祭り
 ・お祭りの運営に携わります。



12月(予定) 南支援学校との交流学習
 ・1年生が南支援学校の生徒と交流します。

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動

エ. 使用した教材(書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特にありません。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程(指導計画)にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

主に、特別活動や総合的な学習、放課後のボランティア活動などに位置付けています。各教科の内容を、ESDの視点から見直した、ESDカレンダーも作成しています。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

ESDの分掌をつくっています。
研究収録をつくり、職員が異動になっても継続できるようにしています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

内部の評価は、教育活動内容を研究収録としてまとめることで行っています。外部評価は、ESD実践発表会を行うことで行っています。
年々、ボランティア活動の幅が広がりとともに、生徒が自主的に取り組む機会が増えている点が大きな成果です。課題は、新たな活動を考案するとともに、活動内容が増えすぎて継続困難にならないよう、活動内容を厳選していくことです。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESD 実践発表会を地域の方に向けて行っています。中学校区の児童・生徒が学習内容を地域の方に向けて発表したり、地域活性化のために話し合ったりしています。また、研究収録を公民館で誰でも閲覧できるようにしています。地域の方々に ESD が広まってほしいと願っています。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

藤田地区 ESD 地域連絡会を組織しています。
中学校区の保・幼・小・中・高や JA、地域協働学校などで組織され、地域で子どもに ESD の視点で求められる資質や能力を育むことを目的としています。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特にありません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

生徒が、「課題を発見し」、「解決方法を考え」、「周囲と協力しながら」、「自分にできることを実践する」力が育まれてきています。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

(1)「職場体験」プロジェクト

- つけたい力 ・未来像を予測して計画を立てる力
・他者と協力する態度

2年生が3日間少人数グループに分かれて地域の職場に赴き、様々な仕事の体験を積む。

(2)「花いっぱい運動」プロジェクト

- つけたい力 ・コミュニケーションを行う力
・他者と協力する態度

授業外の活動として学年を超えて有志による活動を行う。

5月に、藤田公民館の協力を得て、生徒会が主催する「花いっぱい運動」を展開する。

11月には、本校を舞台に3日間にわたって、興陽高校生徒、地域住民と一っしょに地域を彩る花を植えたり交流活動をしたりする「花いっぱい運動」に取り組む。

(3)地域社会や公民館主催の活動への主体的・共同的参画

- つけたい力 ・コミュニケーションを行う力
・責任を重んじる態度

①授業外の活動として学年を超えて有志による活動を行う。公民館を会場に、生徒会主催の「親子ふれあい理科教室」を年数回実施し、スタッフの一員として参加する。

②地域のお祭り(どんぶらこ収穫祭、藤田ふれあい祭りなど)の運営スタッフとして参加する。

③文化委員会が夏休みに地域の小学校を訪問して児童に絵本の読み聞かせを行う。

④2年生が、出身小学校へ行って、正門に立ち、朝のあいさつ運動に参加する。

⑤1年生(一藤小卒業生有志)が、第一藤田小学校へ行き、都保育園の園児と児童(4年生)、生徒が協力して地域の清掃活動に取り組む。

(4)人権教育プロジェクト

- つけたい力 ・コミュニケーションを行う力
・つながりを尊重する態度

1年の総合的な学習の時間に取り入れる。

1年生12月:南支援学校との交流を行う。

(5)平和学習プロジェクト

- つけたい力 ・批判的に思考・判断する力
・つながりを尊重する態度

2年、3年の総合的な学習の時間に取り入れる。

2年生 11月:原爆の恐ろしさ、戦争の怖さを学ぶ。

3年生 7月:修学旅行で被災地長崎を訪れ、真の平和について考え国際理解を深める。